

取組事例 港町・江差の文化遺産を活用した観光の推進による雇用創出 (江差町)

かつての港町としての繁栄により生み出された文化遺産等を活かした観光を基軸としたまちづくりを推進し、雇用の創出や移住・定住への流れを生み出すことを目指している。

関連数値目標・KPI

※単位:千人	基準値 (H26)	実績 (H29)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
観光入込客数	326	345	400	86.3
宿泊客数	22.7	24.5	40	61.3

取組の推進体制

民産官学金連携による「江差観光まちづくり推進協議会」を設立。地域内・広域連携体制の構築、リーサス等の客観的データなどを活用した観光動向分析を実施。

平成29年度「日本遺産」認定

～その町並みは、江戸時代から明治時代にかけてのニシン漁とその加工品の取引によって形成されたもので、その様は「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどであった。
ニシンによる繁栄は、江戸時代から伝承されている文化とともに、今でもこの地域に色濃く連続と息づいている。～
(ストーリー抜粋)

江差の五月は江戸にもない
ーニシンの繁栄が息づく町ー



取組事例 DMOを基盤とした『古くて新しいまち江差』プロジェクト

江差の観光ブランド化の推進

- 主な取組
- ・「江差町歴史文化基本構想」を策定し、北海道初となる「日本遺産」に認定。
 - ・檜山管内連携事業によるバリアフリーレジャーの推進
 - ・主要観光施設内に観光インフォメーションセンターを整備



- 今後の展開
- ・「北の江の島構想」により、かもめ島、港湾、開陽丸を再整備する。
 - ・民泊の推進、宿泊施設誘致等により宿泊者数の増加を目指す。

江差町版DMOの形成・確立に向けた取組

- 現状
- ・「江差観光まちづくり推進協議会」を設立。
- 今後の展開
- ・「江差観光まちづくり商社(仮称)」の設立を目指す。
 - ・「北の江の島構想」によりDMO活動拠点を整備をする。